

【高等学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	佐賀県立唐津商業高等学校定時制課程
-----	-------------------

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である
B:おおむね達成できている D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの覚知・認知がゼロで、穏やかに過ごしやすい環境になっている。しかし、一部に私生活の乱れや進路意識の希薄な生徒が一定数いる。今後はより深く豊かなコミュニケーション能力や人間関係の構築、進路意識の向上につながる声掛けや導きを行いたい。 ・Teamsを活用して課題や連絡の配信を行ったことで、アンケート回収や、生徒からの質問や相談を受けやすくなった面があった。今後もICTの活用を通して生徒とのコミュニケーションに近づきたい。ホームページの内容や更新を工夫し、広報活動の一助としたい。
------------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<p>【全定共通学校目標】幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。</p> <p>【定時制学校目標】北部地区唯一の商業科定時制高校としての存在意義を明確に持ち、生徒一人ひとりのニーズに対応した普通教科の深い学びとビジネス教育を通して、職業人として必要な豊かな人間性を育み、幅広い知識と教養を身に付け、常に当事者意識を有し、自ら考え行動できる人材を育成する。</p>
----------------------------	---

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標
	<ul style="list-style-type: none"> ① 礼節を重んじ人を思いやる心を持ち、本校での学びに必要な学力を有する生徒を求めます。 ② ビジネスを学ぶことに興味・関心があり、専門的な知識・技能の修得や資格取得に意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。 ③ 世の中の激しい変化に対応できるように自らを変え、成長するため、根気強く努力することができる生徒を求めます。 ④ 生徒会活動や部活動等を通して、学校の活性化に寄与することを期待できる生徒を求めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能を活用する実践力を身に付けるため、検定資格取得の機会を設けます。 ② 教育講演会や各教科・科目の授業において幅広く外部人材を活用します。 ③ 探究活動を通じて、意欲的に地域について学び、地域行事や奉仕活動に参加します。 ④ 義務教育段階の学習について学び直しの機会を設けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 様々な経済活動で役に立つ確かな知識や技能を身に付け、活用できる実践力を育成します。 ② 課題解決に必要な情報収集能力と情報分析能力を育成します。 ③ 自らの適性と世の中の動きを正確に理解し、自ら判断して行動する力を育成します。 ④ 自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳心を養成します。 	

5 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価		主な担当者		
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	○基礎的な文字力・計算力の定着	○文字力テスト、計算力テストを年間各7回実施(前期4回、後期3回) ・文字力テスト 昨年度は75.6%だった正答率を、今年度は80%以上を目標に取り組み。	・文字力テストについては3級レベルを中心に漢字の意味を理解し、正しく書き、会話や文章の中で適切に使う能力を育成する。 ・計算力テストについては個別指導も含め、全学年、基礎的数学技能を身に付けられるように指導する。 ・今年度は昨年度と同様に4限目に実施時間を設定する。また、計画的な学習習慣の定着を目指す。							教務主任 各教科主任 各担任
●心の教育	●基本的な生活習慣の確立を目指す。 アルバイトの勤務時間の見直しや睡眠時間の確保等を考え、学校生活がやりやすい環境づくりをする ○挨拶等のコミュニケーション能力の向上を目指す。	○自然とあいさつを交わせる生徒80%以上	・登下校や学校生活の中で、教員側から挨拶や声掛けを積極的に行うことで人とのふれあいの楽しさを伝え、生徒間に浸透させる。							生徒指導主事 保健主事 教育相談係 各担任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○給食の喫食率の向上(75%以上)	・いじめ防止基本方針について、保護者へ周知する。 ・いじめ対応に対する研修・会議を2回以上実施する。 ・生徒情報交換会を毎月実施し、職員間で情報共有を行う。							学校栄養職員 保健主事 養護教諭 保健体育科教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1ヶ月80時間以下)の遵守 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・学校閉庁日を設定する。 ・出退勤管理システムを定期的に点検し、定時出退勤を呼びかける。							管理職
●特別支援教育の充実	●特別支援教育に関する教員の意識の向上	●障害特性を理解し、個々の発達課題について適切な把握及び対応を行うことができる。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・生徒の情報交換会の開催、授業担当者だけでなく教員全員で情報を共有する。							管理職 養護教諭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価	意見や提言
○(独自評価項目・任意)	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合100%以上 ★県外からの入学者数1人以上	・地域・企業等と連携した学校運営を行う。 ・学校ホームページ等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。 ・受検生向け説明会において広報活動に努める。							
○(独自評価項目・任意)	◎職業観・勤労観の育成 ○キャリア教育の充実と希望進路の実現	○アルバイトの就労率70%以上 ○アルバイト先の訪問を実施し、責任者との情報交換を行う。また、生徒の働いている状況等について観察する。 ○卒業予定者の希望進路決定率100%	・アルバイトを奨励しつつ、学業を優先した教育を行う。 ・生徒・保護者・学校の情報共有を密にし生徒の指導に生かす。 ・1~3年生についてはキャリア・パスポート活用の充実を目指す。							進路指導主事

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望 (簡潔に)	
--------------------------	--